

DALL-E 3により作成

## 1. 高等学校重点目標について

- ・これまでの実践を踏まえた、ICTの日常的な活用による「生徒主体の学び」と「ICT」との最適な組み合わせを実現
- ・自他の権利を尊重し、デジタル技術を適切に扱う責任を生徒が自覚できるよう指導を充実

今年度は、

主体的にICTを活用して他者と協働して考察や発信ができる生徒の育成を目指しています。



詳細は、  
徳島県GIGAスクール構想ホームページ  
をご覧ください。  
<https://gigaschool.tokushima-ec.ed.jp/>



## 2. ICT活用の日常的・効果的な活用の3つのポイント

### POINT 1

「カメラ」機能を使う  
学習場面をつくる

- ① 板書、体験活動などを生徒や教師が撮影する  
→クラウド活用で、いつでも誰もが振り返り可能に
- ② 制作過程の作品などを生徒自身が撮影する  
→気づきを言葉にし、自分の伸びや課題が分かるように



DALL-E 3により作成

### POINT 2

「アンケート」機能を使う  
学習場面をつくる

- ① 場所や時間に縛られずに生徒が情報収集する  
→クラスや学年を越え、学校外にいる相手にも調査が可能に
- ② 瞬時にクラス全員の多様な考えを共有する  
→クラスの傾向が見える化し、学習成果の客観的な把握に



DALL-E 3により作成

### POINT 3

「共有」機能を使う  
学習場面をつくる

- ① 一つのシートをグループで共同編集する  
→グループで分担し、協働による作品の制作が可能に
- ② 共有シートで意見を短時間で収集する  
→途中経過を友達と見合い、学習の調整に



DALL-E 3により作成

※共有機能：同じシートを開き、同時に複数の生徒で作業をすること

# 3. 生成AIの校務での活用の好事例

## アンケート結果の分析、改善方法の提案

### プロンプト例

文化祭に関するアンケートの自由記述欄の回答について、否定的な意見として代表的なものを5つ抽出し、それぞれに対する対応策を考えてください。

### #出力条件

- ・意見の内容を踏まえ、多いものから5つ選んでください。
- ・代表的な意見については、回答内容から引用してください。

### #自由記述欄の回答内容

【アンケートの自由記述欄に記載された内容を貼り付ける】

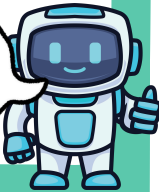
### 生成例

文化祭に関するアンケートの自由記述欄から、否定的な意見を抽出し、それぞれに対する対応策を提案します。

### 代表的な否定的な意見と対応策

- 意見: 「文化祭の準備が不十分で、当日の準備が忙しなかった。」
- 対応策: 事前の準備を徹底するために、準備の進捗状況を定期的に確認し、当日の問題を事前に洗い出します。

生成AIは先生の仕事を助ける可能性を秘めた便利なツールです。



## 学習評価のルーブリック案の作成

### プロンプト例

# 役割  
あなたは高校3年生の小論文を指導する教師です。次の条件にしたがって、ルーブリックを作成してください。

### # 条件

## 観点  
理解力、構成力、発想力、表現力

### ## 評価

A、B、C、D

### ## 出力形式

表形式

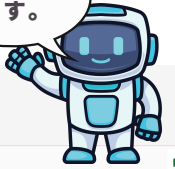
### 生成例

Copilot

以下は、高校3年生の小論文を評価するためのルーブリックです。

観点	A (優秀)	B (良好)	C (普通)	D (改善が必要)
理解力	テーマを深く理解し、詳細かつ正確に説明している	テーマを理解し、主要なポイントを説明している	テーマを部分的に理解し、基本的なポイントを説明している	テーマの理解が不十分で、説明が不明確または不正確
構成力	論理的で一貫性のある構成を持ち、段落間のつながりが明確	構成が論理的で、段落間のつながりが概ね明確	構成が部分的に論理的で、段落間のつながりが不十分	構成が不明確で、段落間のつながりがほとんどない
発想力	独自の視点や新しいアイデアを豊富に含んでいる	独自の視点や新しいアイデアがいくつか含まれている	独自の視点や新しいアイデアが少ない	独自の視点や新しいアイデアがほとんどない

出力結果は、別のプロンプトに利用できます。



## 授業用のサンプル教材等の作成

### プロンプト例

### # 役割

あなたは高校1年生の情報科の教師です。

# 目的 生徒に誤りを含む説明文を見せて、どこに誤りがあるか考えさせることを目的に、誤りを含む説明文を書いてください。

### # 条件

- 条件1: 情報モラルについて、6つ作成
- 条件2: トピックは「不正アクセス行為の禁止に関する法律」、「個人情報の保護に関する法律」、「特定商取引に関する法律」
- 条件3: 各トピックについて説明文は2つずつ
- 条件4: 誤りを2つ作成し、それ以外は正しい記述
- 条件5: 誤りの箇所について、解説を出力

### # 出力形式

文章

## ルーブリックを用いた学習評価の作成

### プロンプト例

### # 役割

あなたは高校3年生の小論文を指導する教師として、上記に作成した評価ルーブリックを用いて、次の小論文を採点して下さい。

### # 条件

この小論文は高校3年生が書いたものです。

### # 小論文

【小論文のデータを貼り付ける】

※プロンプト: 生成AIなどの対話形式のシステムにおいて、ユーザが入力する指示や質問のこと

## 校務での活用例

### 児童生徒の指導にかかわる業務の支援

- ・教材のたたき台
- ・練習問題やテスト問題のたたき台
- ・生成AIを模擬授業相手とした授業準備

### 学校の運営にかかわる業務の支援

- ・報告書のたたき台
- ・授業時数の調整案のたたき台
- ・教員研修資料のたたき台
- ・HP等広報用資料の構成・たたき台
- ・挨拶文や式辞等の原稿のたたき台

### 学校行事・部活動への支援

- ・校外学習等の行程作成のたたき台
- ・運動会の競技種目案のたたき台
- ・部活動等の大会・遠征にかかる経費の概算
- ・定型的な文書のたたき台

### 外部対応への支援

- ・保護者向けのお知らせ文書のたたき台
- ・外国籍の保護者へのお知らせ文書の翻訳のたたき台

## 活用事例掲載

リーディングDXスクール生成AIパイロット校  
令和5年度事業 最終報告

文部科学省は、教育活動や校務において生成AIの活用に取り組む生成AIパイロット校を指定し、「効果的な教育実践の創出」を行っています。

[https://leadingdxschool.mext.go.jp/r05/ai\\_school/](https://leadingdxschool.mext.go.jp/r05/ai_school/)



初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン

[https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt\\_shuukyo02-000030823\\_003.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf)



## 留意点

1. 個人情報等の保護の観点を十分に踏まえること
2. 教育情報セキュリティポリシーを踏まえた対応
3. 著作物の利用に関する正しい理解に基づいた対応

(出典) 文部科学省初等中等教育局、初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン(令和5年7月4日)

## 情報モラル年間指導計画のチェックを!

担当者が作っただけになっていませんか?

年間指導計画を校内で共有できていますか?

生徒自身で判断して行動できる力と態度を育成できていますか?

年間指導計画を適宜見直していますか?

## 情報モラルコンテンツ (GIGAワークブック)



ダウンロードはこちら

徳島県情報モラル教育サポートサイト

<https://j-moral.tokushima-ec.ed.jp/>



問い合わせ  
教育DX推進課

☎: 088-621-3099